

留学先大学：SOAS
 留学先での所属学部・研究科：Exchange
 留学先での在籍身分：Undergraduate
 留学期間：2013年7月～2013年6月
 神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部
 学年（出発時）：3
 本報告書記入日：2013年11月15日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

留学生センターや教務学生係に置いてある報告書を借りて、SOASやほかのイギリスの大学の報告書を読ませてもらっていました。あとは神戸大学の交換留学のサイトなど。

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮，アパート）の名前：Dinwiddy House
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：_____） その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：30分，徒歩
- ・住居の周りの環境はどうか。：

Kings Cross, St.Pancrass駅まで徒歩5～10分なうえ、寮に面している道路にはバスが走っているので、交通手段は非常に便利です。徒歩5分圏内にスーパーもあります。夜も比較的明るいです。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

朝と夜はほぼ毎食自炊しています。
 昼はお弁当を作ったり、大学の食堂、SOAS構内に毎日来る宗教団体の方々が配っているfree mealなどで済ましています。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

渡航3か月前に申し込んで、確定したのは1か月前くらいでした。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____ 登録用紙に記入し、担当教授にサインをもら
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Introduction to Social Anthropology	Caroline Osella	2h lecture 1h tutorial	1,0	120	リーディングの量がかなり多いです。
2	Performance B(Thai music)	Suchada Sowat	2h	0,5	6	予習、復習は特にはないです。授業で楽器 を演奏しています。
3	Special Course in Chinese 2		2h lecture 2h tutorial	1,0	30	
4	Development conditions and experiences	Maryann Bylander	2h lecture 1h tutorial	1,0	140	オムニバスです。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

レクチャーでは、だいたい100人ほどが大きな教室に集まります。チュートリアルは10人前後でプレゼンやディスカッションをします。Termごとにエッセイを課すクラスが多いですが、成績はTerm3の試験期間に行われる筆記試験でほぼ決まります。勉強熱心な学生が多くて、平日も休日も、図書館で勉強する人が多いです。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00						shopping	予習・復習
9:00		Chinese tutorial(9~ 11)				や友達と 遊ぶ	
10:00	SA						
11:00	Lecture						
12:00	(11~13)			Developm ent tutorial(1 2~13)	SA tutorial(1 3~14)		
13:00					Developm ent tutorial(1 5~17)		
14:00				Chinese lecture(15 ~17)			
15:00							
16:00							
17:00							
18:00	performan ce(17~19)						
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

私は英語力が足りなかったため、始めにpre-sessionalの8週間コースに参加しました。なので7月26日という他の人より早い渡英で、試験期間ということもあり準備もまともにできないまま出発しました。また、この交換留学は私にとって初めての単独海外だったので、かなり不安を抱いていたのですが、案の定、到着日の夜からホームシックになりました。時差ボケと寂しさが重なって初めの1週間は辛かったのですが、pre-sessionalコースは留学生用のコースなので友達もすぐにでき、毎日顔を合やすクラスメイト（10人ほど）とも仲良くなりやすい環境でした。授業は午前中はWriting, Readingの授業で午後がSpeaking, Listeningの授業で両方2時間ずつです。自習の時間も十分確保できるので、エッセイ提出の前日（毎週木曜日）以外ほわりとのびのびしていました。休日にはビッグベンやロンドンアイを始め、様々な観光地に遊びに行くことができました。後半の4週間から、午後の授業は各自の専門分野に分かれて授業を受けるようになります。わたしはDevelopment Studiesを選択し、正規の授業前に少し知識を身に付けることができました。さらに私は大学付属？の学生寮（一人部屋、キッチンがシェア）に住んでいるので、晩御飯を同じpre-sessionalのコースに通うフラットメイトと一緒に食べたり、たまに一緒に作ったりして、他のフラットと合同でパーティーを開いたりなど、非常に楽しく過ごせました。このpre-sessionalコースでは、academic writingの方法や、note taking, seminar discussionの練習ができるので、正規の授業前に一通り経験することができます。約2か月間英語漬けの毎日だったので、大学に通って勉強するうえで必要な基本的勉強法をしっかりと学ぶことができました。このコースが終わったときは、クラスメイトとのお別れや、寮の部屋も移動しなければならず、フラットメイトともお別れしなければいけなかったのが非常にさびしかったです。でも、ここでできた友達とは、かなり長い時間一緒に過ごしてきたので親密な仲になり、今でも連絡を取り合ってパーティーを開いたり、休日に一緒に遊びにいったりと、とても仲良しです。中国人のフラットメイトは、院生なので今では大学でほとんど会わなくなったのですが、週1で私のフラットに遊びに来て中華料理を作ってくれます。笑。そしてpre-sessionalが終わるとすぐに正規授業がスタートします。初めの一週間はオリエンテーションweekで、学部の説明やsocietyの紹介など、新歓みたいな感じでした。交換留学生は好きな授業を選べるので、取りたい授業はほとんど履修できました。しかしいざ授業が始まると、今までののんびり生活が一転して、毎日ひたすらreadingに追われました。時間割を見るとスカスカに見えますが、かなりしんどいです。ご飯とお風呂と登下校の時間以外はreadingみたいな感じです。笑。量が多いうえに要領がわからなかったのが、ひたすら読んでもtutorialでは発言できず。。。という悔しい日々が続いたので、始めはかなりつらく感じたうえ、留学生ばかりだったpre-sessionalと比べると、現地学生の割合がだいぶ増えたので、たまにアウェーに感じたりしました。自分から積極的に行かないと友達を作るのも難しく、それをしんどく感じたり、英語が嫌いになったことが何回かありました。それでも毎日readingの試行錯誤を繰り返して、やっと短時間で内容を理解できるようになってきたり、tutorialも初めはclassmateが何を話しているのかにもついていけなくて、泣きそうになっていたけど、すこしづつ慣れてちょっとずつではあるけど、前より発言できるようになってきました。そのころから周りを見る余裕もでき始めて、友達も増えてきました。時間がかかりましたが、授業が始まって7週間ほどたった今、やっと慣れてきた、という感じです。6週目はreading weekで授業がなかったので、課題のエッセイをやりつつ、友達ととりあえずのお疲れ様会を開いてしんどさを共有したり出かけたりしながらリフレッシュできました。計画不足で旅行に行けなかったのは残念でしたが、休憩できたのでよかったです。クリスマス休暇まであと1か月、毎日勉強の日々ですが、学びたかったことを英語を使いながら勉強できることに有意義さを感じつつ、課題に苦しみながらも頑張っていきたいと思います。最後になりましたが、ロンドンはもちろんですが、SOASは本当にたくさんの留学生を受け入れていて、multiculturalな大学で、とても刺激的です。勉強は大変ですが、それ以上に楽しさや充実さが大きいです。